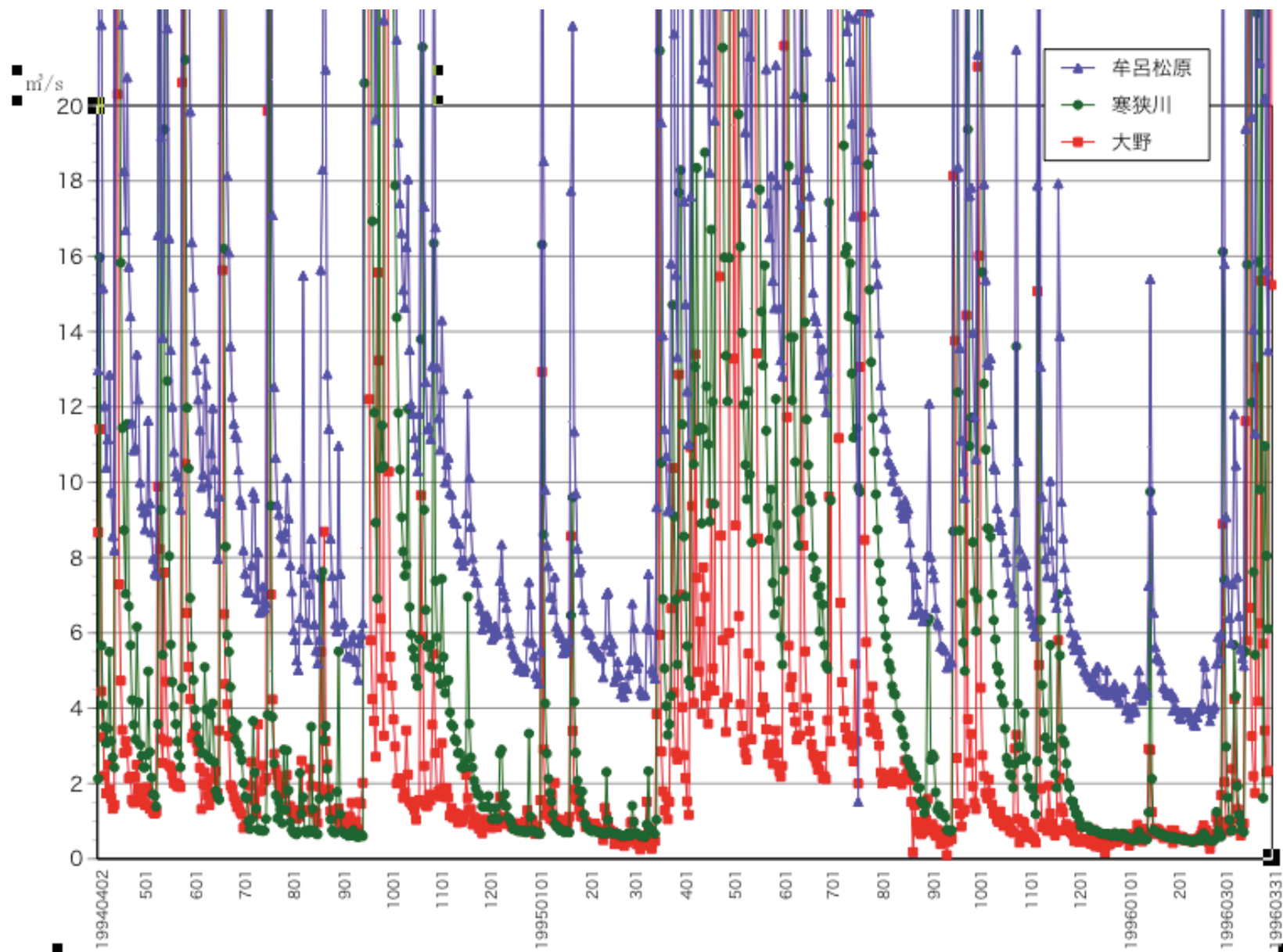


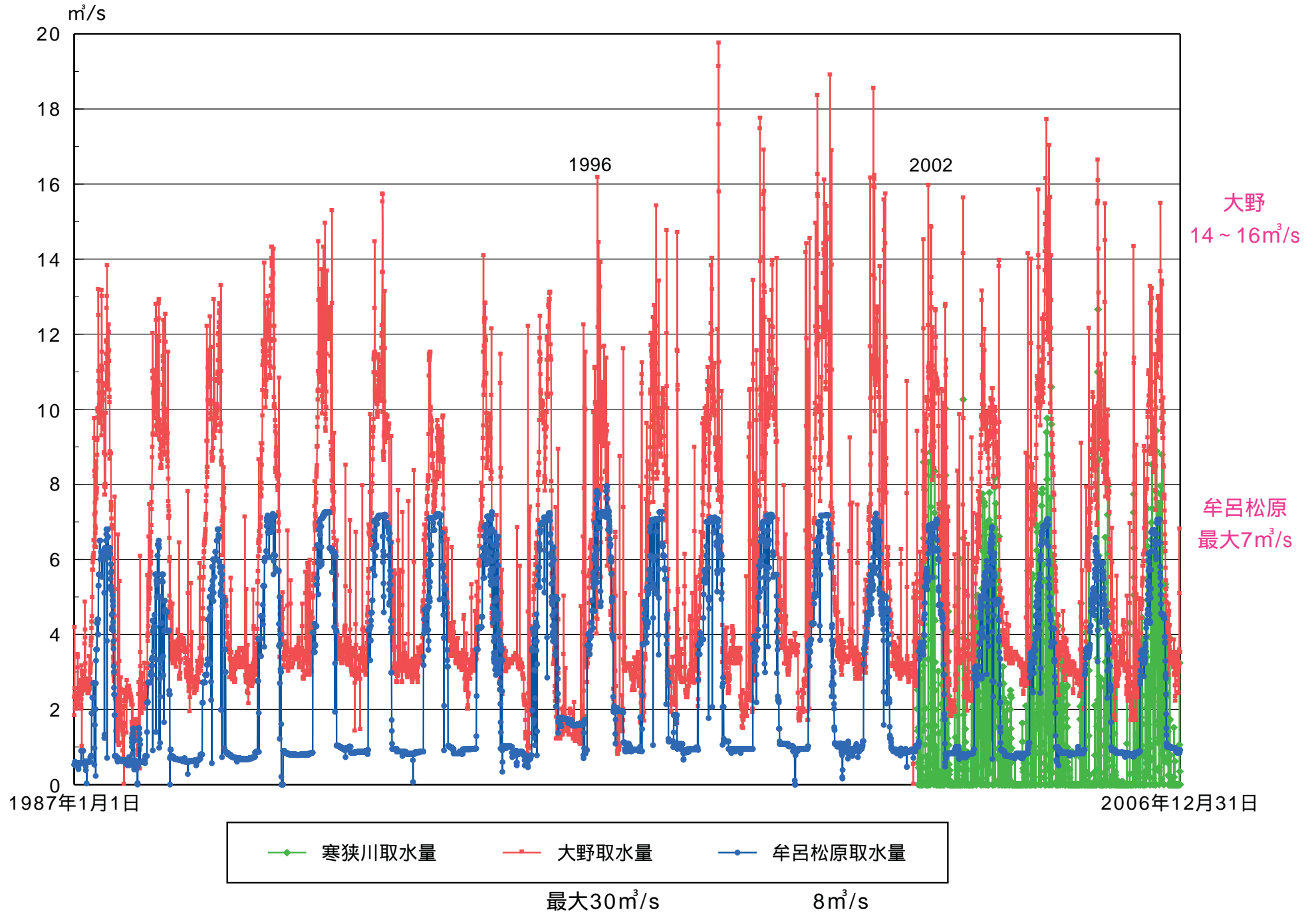
ダム運用前取水地点流量（既存利水は除く）



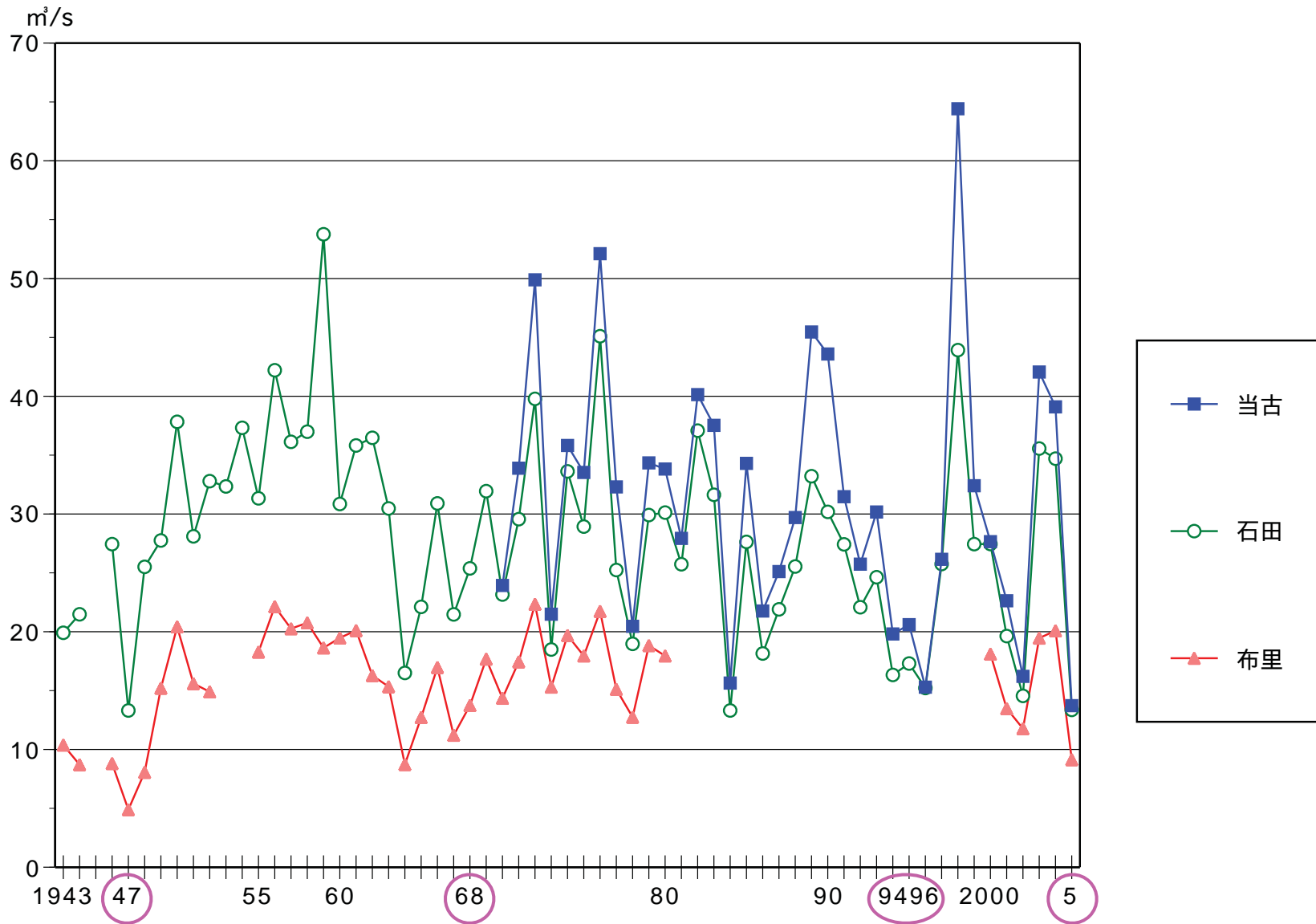
牟呂松原は4 m^3/s は流れる
不特定補給は少ない

大野では1 m^3/s を切る
寒狭川から補給

大野，牟呂松原，寒狭川の各頭首工の取水量



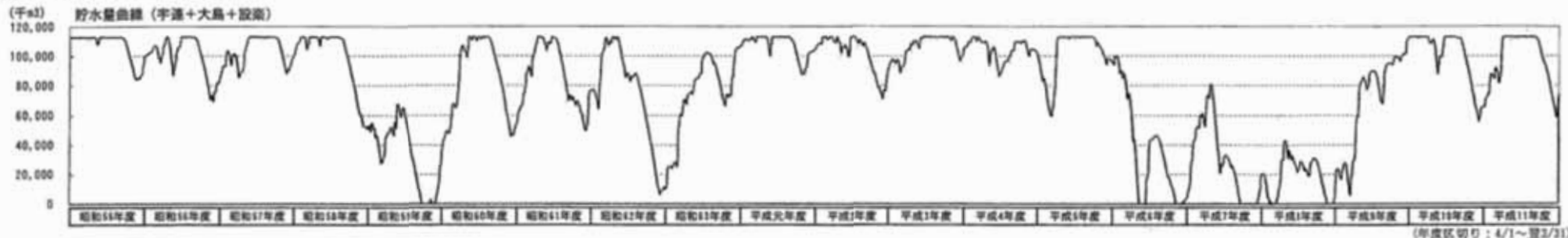
豊川の流量観測地点の年平均流量と渇水年



資料：流量年表

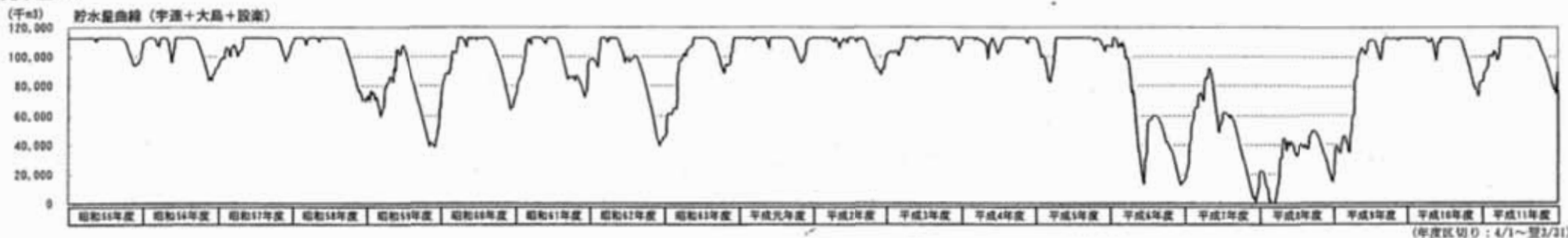
貯水量曲線図

開発水量100%



豊川用水・豊川総合用水・設楽ダム完成後79%

開発水量79%

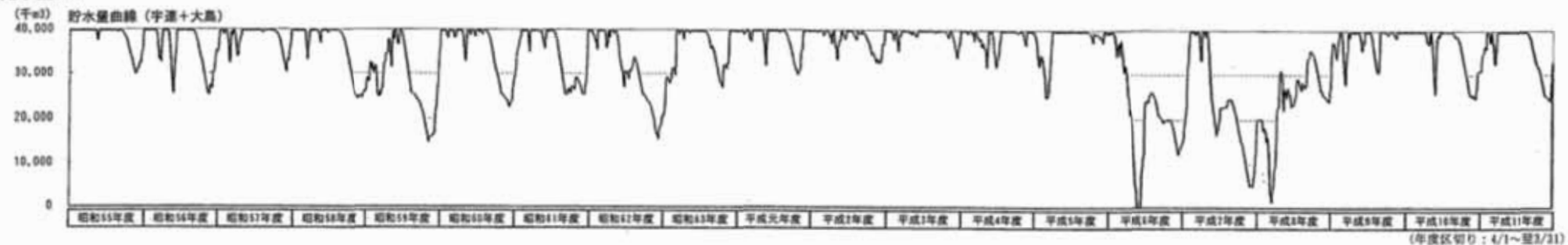


1994~96 (1/10の基準年) は、設楽ダムが満水になっておらず、
2年連続の「異常喝水」による計算となっている (異例)

貯水量曲線図

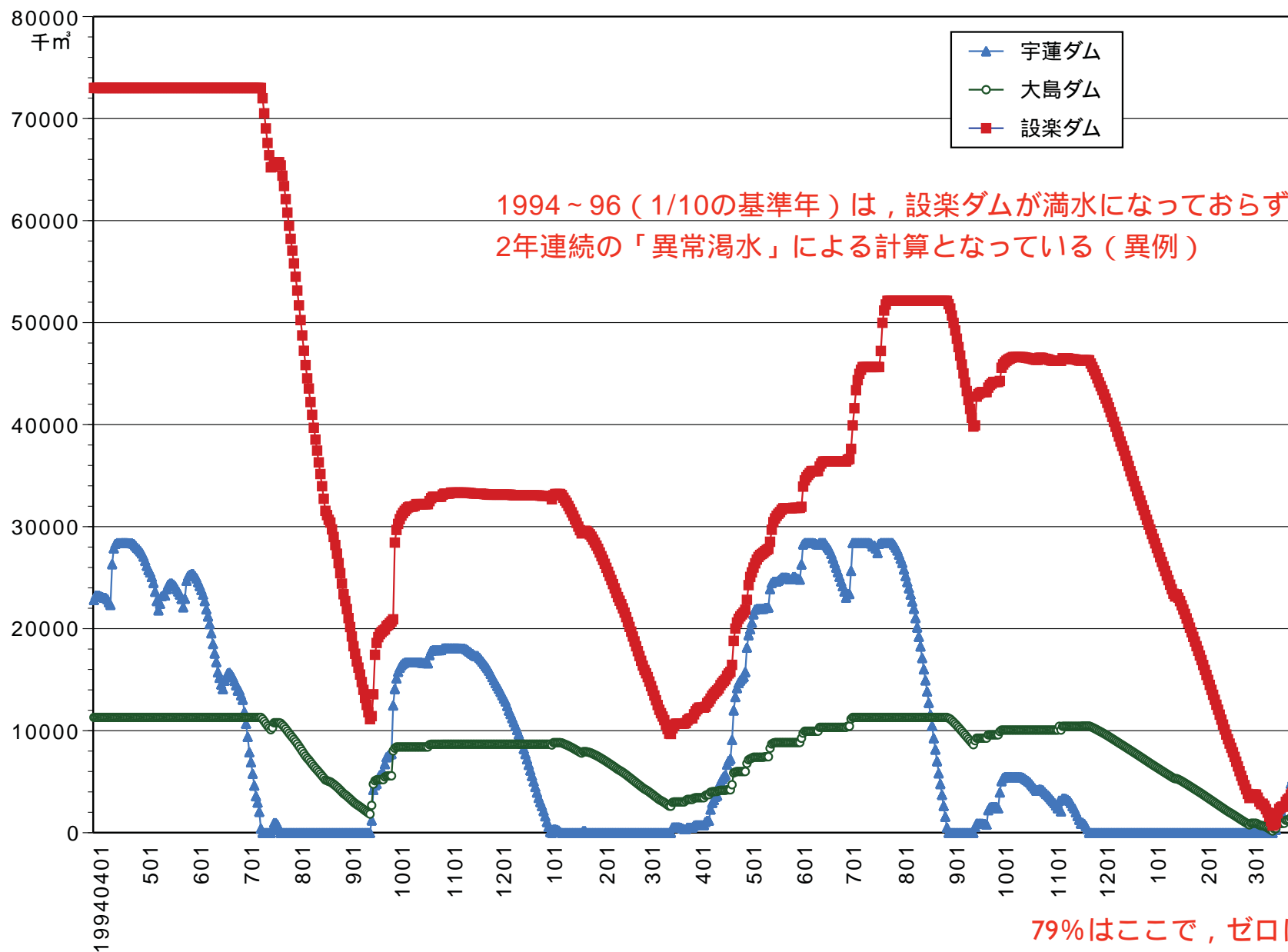
開発水量62%

豊川用水・豊川総合用水62%



資料：豊川水系施設実力調査 (2006年, 国土交通省)

宇連・大島・設楽の各ダム貯水量（開発水量79%）



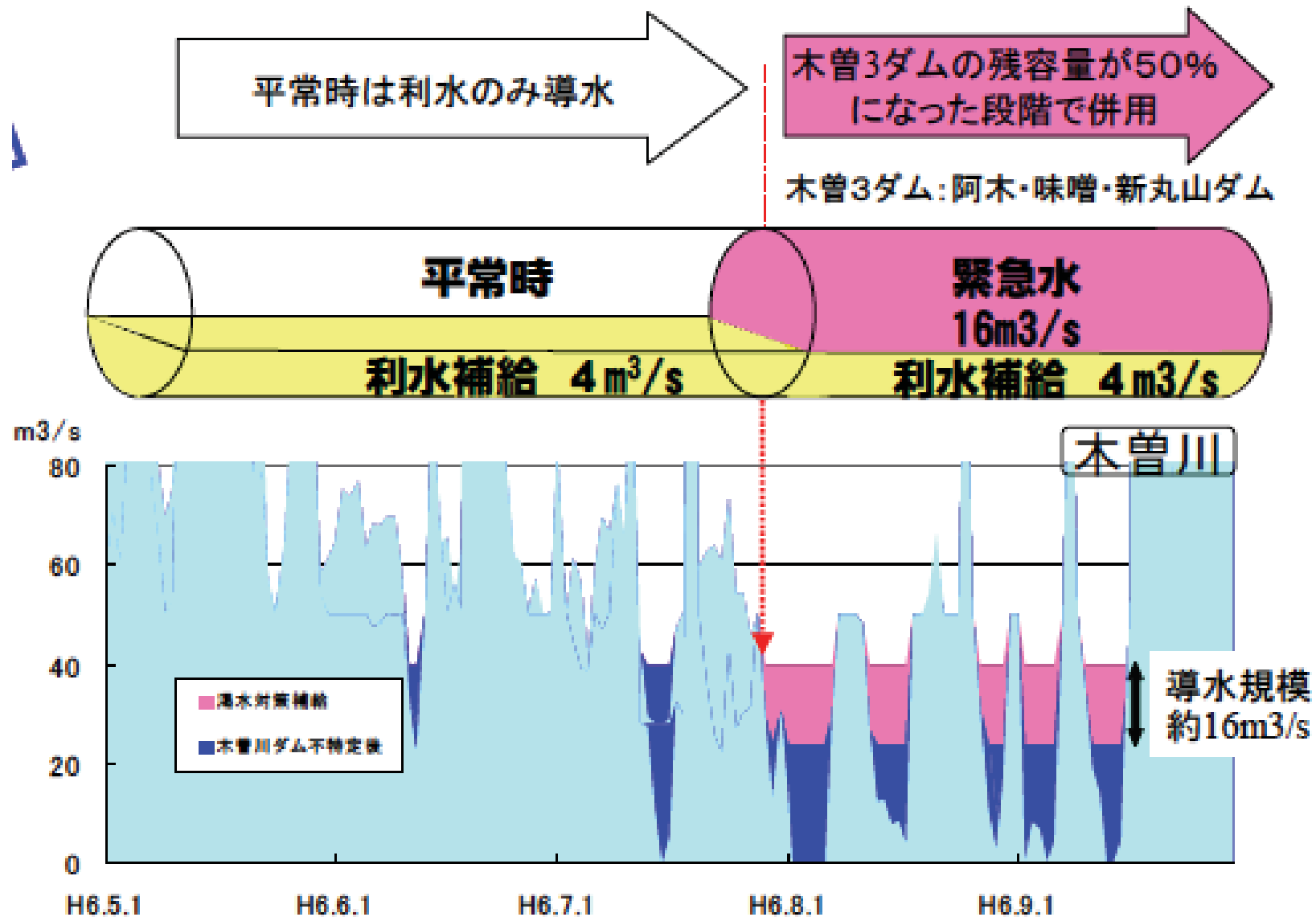
設楽ダムの容量配分：不特定容量は治水（正常流量）か利水か

- きたしたらくんしたらちよう とよがわ とよがわ
- 場所 愛知県北設楽郡設楽町（豊川水系豊川）
 - 目的
 - ・洪水調節
 - ・流水の正常な機能の維持
 - ・かんがい
(愛知県東三河地域の農地約17,200haに対するかんがい用水として、新たに毎秒0.339m³(年平均)の取水を可能とする)
 - ・水道用水
(愛知県東三河地域の水道用水として、新たに毎秒0.179m³の取水を可能とする)
 - 諸元
 - ・重力式コンクリートダム、高さ129m
 - ・総貯水容量 9,800万m³
 - ・利水容量 7,300万m³
 - 概算事業費 約2,070億円
 - 工期 昭和53年度～平成32年度(予定)
 - 経緯
 - ・昭和53年4月 実施計画調査着手
 - ・平成15年4月 建設段階へ移行
 - ・平成19年6月 設楽ダム建設事業環境影響評価書を公告縦覧
 - ・平成20年10月 設楽ダムの建設に関する基本計画を告示
 - ・平成21年1月 水源地域対策特別措置法に基づくダムに指定
 - ・平成21年2月 損失補償基準の妥結調印、ダム建設同意に関する調印
 - ・平成21年3月 水源地域対策特別措置法の水源地域指定、整備計画の決定
 - ・平成21年12月 検証対象ダムに区分
 - 事業の進捗状況(平成22年度までの進捗率(事業費ベース)) 約13%
 - 事業主体 国土交通省



木曽川成戸地点の流況と運用のシミュレーション

(平成6(1994)年湧水の場合)



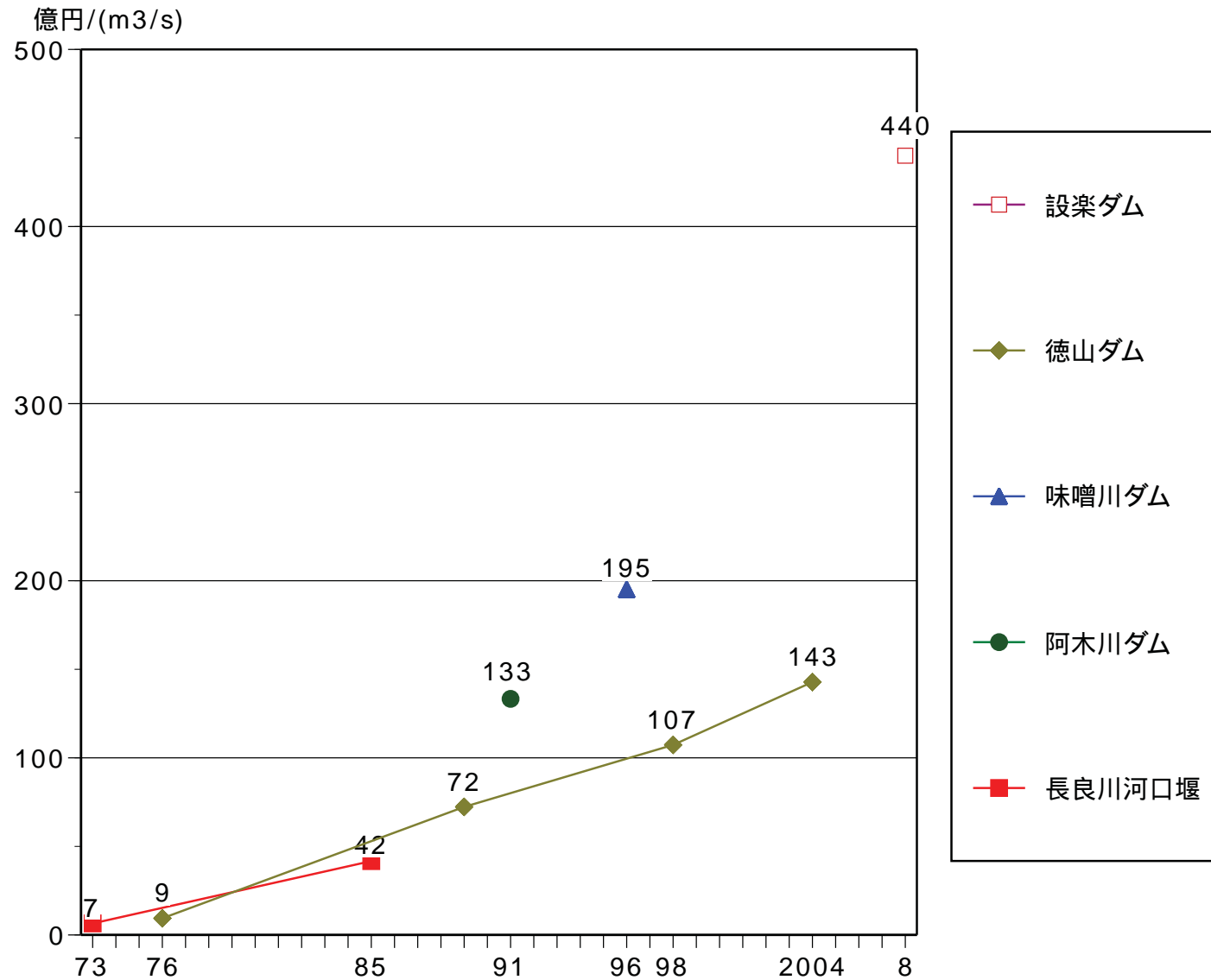
資料: 木曽川水系流域委員会第7回資料

徳山ダムのアロケーションの推移（億円，％）

		1989年アロケーション		1998年アロケーション		89-98増減	2004年アロケーション		98-04増減
	合計	2,540	100	2,540	100		3,500	100.0	960
	計	978	38.5	1128	44.4	150	2,024	57.8	896
	国	685	27.0	789	31.1	104	1,416	40.5	627
治水	岐阜県	237	9.3	251	9.9	14	438	12.5	187
	愛知県			25	1.0	25	68	1.9	43
	三重県	57	2.2	62	2.4	5	101	2.9	39
	計	721	28.4	572	22.5	-149	619	17.7	47
	国	240	9.4	191	7.5	-49	207	5.9	16
上水	岐阜県	69	2.7	69	2.7		84	2.4	15
	愛知県	183	7.2	183	7.2		189	5.4	6
	名古屋市	229	9.0	129	5.1	-100	140	4.0	11
	計	363	14.3	363	14.3		368	10.5	5
工水	国	109	4.3	109	4.3		110	3.1	1
	岐阜県	197	7.8	197	7.8		191	5.5	-6
	名古屋市	57	2.2	57	2.2		66	1.9	9
発電		478	18.8	478	18.8		490	14.0	12

資料：国土交通省中部地方整備局

あまりにも高い設楽ダム水利の開発単価



注：開発水量 (m³/s) 当りの利水アロケーション (配分) 費用 (億円)